

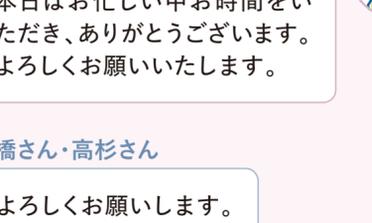
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。
学園のメンバーが人生の『パイセン』に、
仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!



株式会社タナックス

今回サキホコレ学園Hチームがインタビューするのは、秋田県鹿角郡小坂町に本社を置く明治28年創業の老舗建設業者・タナックスのお二人。取締役総務部長の高橋さん、土木・建築担当の高杉さんが会社で取材に応じてくれました。どんな話が聞けるか楽しみです!

今回のパイセン



高杉さん

Hチーム

本日はお忙しい中お時間をいただき、ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。



高橋さん・高杉さん

よろしくお願ひします。

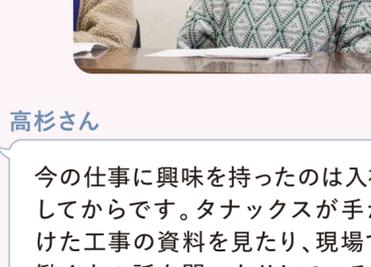
Hチーム

はじめに、会社の概要を簡単に教えてください。



高橋さん

タナックスは130年の歴史を持つ、土木と建築に特化した会社です。秋田県と青森県で数多くの公共、民間工事実績があります。現在の社員数は61名で、そのうち5名が女性です。



Hチーム

高杉さんはここで、どのような仕事をしていますか?

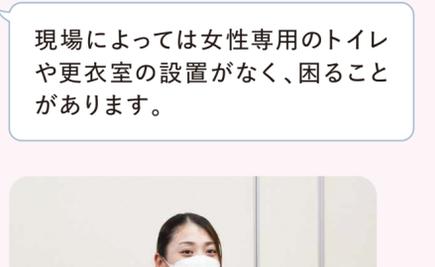


高杉さん

現場監督をしています。

Hチーム

現場なんですね!昔から興味があったんですか?

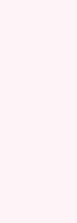


高杉さん

今の仕事に興味を持ったのは入社してからです。タナックスが手がけた工事の資料を見たり、現場で働く人の話を聞いたりしているうちに、自分もそこに関わりたいと思うようになって。会社のバックアップを受けながら現場に出るために必要な資格を取得し、現場監督になりました。

Hチーム

思うだけじゃなく、行動して実現させたのがすごいです!現場の仕事はいかがですか?



高杉さん

タナックスの関わる現場は道路やダムなど規模が大きいものが多いので、工事が完了したときの達成感はひとしおです。地域の暮らしを支えている実感もあって、毎日がとても充実しています。

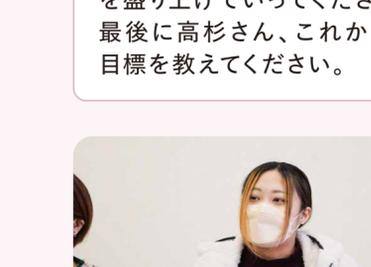
Hチーム

ダムってすごいですね……。現場の仕事に、女性ならではの苦労はありますか?



高杉さん

現場によっては女性専用のトイレや更衣室の設置がなく、困ることがあります。



Hチーム

今後、業界内で女性の進出機会がさらに増えて、状況が好転していくといいですね。高橋さん、女性が現場に出ることで、会社として新たに得られたメリットは何かありましたか?

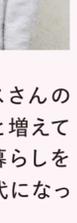


高橋さん

現場周辺の住民に騒音への理解を求めるときなど、女性には難しい話も和やかに進められる人が多い気がします。また細かいところによく気がつくので、工事の出来栄や安全管理などを可視化した工事成績が良くなる傾向にあります。工事成績は会社の信頼に直結するので、新たな依頼が入りやすくなり、結果、業績にも好ましい影響がもたらされます。

Hチーム

良いこと尽くめですね!そんな女性の活躍を推進していくために、現在タナックスさんが取り組んでいることを教えてください。



高杉さん

自分の技術力と交渉力を磨いて、会社と地域にもっともっと貢献できる人になりたいです。

Hチーム

頑張ってください。応援しています!

未来を見据え、女性活躍の推進に取り組むタナックスさんのような会社が増えていけば、建設業を志す女性ももっと増えていくような気がします。インフラ工事の面から地域の暮らしを支える高杉さんのような女性が、もっともっと輝ける時代になってほしいです。